

庄原市農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況（最終公表）

令和8年3月31日現在

2.【応募の状況】

受付番号	応募者											農業委員への応募の有無		
	担当地区	フリガナ氏名	年齢	性別	職業	経歴		農業経営の状況					応募する理由	
						期間	名称・役職等	経営形態	営農年数	年間農業従事日数	耕作面積			営農類型
1	東城1	イマオカ ケンジ 今岡 謙治	77	男	農業	H14.10.10～ H15.1.1～R2.3.31 H17.4.1～H19.3.31 H17.4.1～H21.3.31 H25.3.20～R7.3.31 H29.7.20～	就農 中山間等直払制度・多面的機能支払制度事業組合ファーマーズふくしる副代表（兼）事務局長 庄原市東城地区地域審議会委員 福代自治振興区 会長 東城森林組合 理事 庄原市農地利用最適化推進委員	専業	25	280	90a	水稲 露地野菜 果樹 その他	<p>現在、第3期（令和5年7月20日から令和8年7月19日）の農地利用最適化推進委員を受嘱して、地区農業委員に協力し農地等の利用の最適化の推進、農地の所有権移転、転用等申請の現地確認、農地利用最適化の現地調査や関係者との調整に取り組んでいます。</p> <p>次期（令和8年7月20日から令和11年7月19日）の農地利用最適化推進委員ではこれらの経験を生かした取り組みをしたいと考え応募します。</p> <p>庄原市（東城）の農業は高齢化と後継者不足がますます進み、農業生産力、競争力が低下して遊休農地や耕作放棄地は増加傾向にあります。農地利用最適化推進委員としての担当地区は、点在する農地と小規模農家が多くさらに高齢化と後継者不足等々、農業経営に関する様々な解決・調整しにくい課題を持っています。</p> <p>策定された地域計画もこれから見直しと実現化、枠に入っていない農地等の再考が求められます。</p> <p>これまでに経験した農地所有者や農業者との関わり合いの活動と参加した研修会等で得た情報と知識を活用し、農地利用最適化活動に貢献したいと考えます。</p>	無
2	東城2	サコ トシエ 佐古 敏恵	69	女	農業	R1.6.1～ R5.7.20～	就農 庄原市農地利用最適化推進委員	自家消費	7	260	80a	水稲 露地野菜	<p>退職後、自宅でも農業をしながら、農地利用最適化推進委員に任命していただき3年が経過致しました。</p> <p>圃場の現地確認、パトロールを実施する中で、地域農業者の高齢化、後継者不足、鳥獣害対策等課題が山積みであると痛感しました。</p> <p>引き続き地域の農業推進に対して少しでも力になればと思い応募します。</p>	無
3	西城3	タハラ ムネト 田原 宗人	73	男	農業	H25.4.1～ R4.10.5～	就農 庄原市農地利用最適化推進委員	専業	44	280	106a	水稲 露地野菜	<p>地区の土地利用のあり方を踏まえて、農地の保全と農業生産を促進するため、農地の利用調査や担い手の育成を図っていききたい。</p> <p>また、行政と地域のパイプ役として地域農業の発展を目指した農地利用最適化活動に貢献していきたいので応募します。</p>	無
4	東城5	ナガタ ナオヒサ 長田 直久	61	男	農業	H26.4～ R2.7.20～	就農 庄原市農地利用最適化推進委員	専業	41	200	800a	水稲 その他	<p>平成29年7月から農地利用最適化推進委員に就任し、農地利用の最適化の推進活動をしてきました。</p> <p>これまでの委員経験を生かし、引き続き農地利用最適化推進活動に取り組みたいと思い、応募いたしました。</p>	無

受付番号	応募者											農業委員への応募の有無		
	担当地区	フリガナ氏名	年齢	性別	職業	経歴		農業経営の状況					応募する理由	
						期間	名称・役職等	経営形態	営農年数	年間農業従事日数	耕作面積			営農類型
5	東城1	ヤマモト 山本	78	男	農業	H29.4.1～ H29.7.20～	就農 庄原市農地利用最適化推進委員	専業	17	200	100a	水稻	地区の遊休農地の発生防止・解消に努力し、地域農業の活性化及び発展に努めたいという思いや、地元での声掛け活動や各地区の農地パトロールを通じて高齢化のために農業の継続ができない方へ法人等とのマッチングを図りたいという思いから、農地利用最適化推進委員に応募いたします。	無
6	庄原13	ナガオカ 長岡	男	73	農業	S47.4.20～ H20.4.20～ H29.7.20～	就農 農業共済 損害評価委員 庄原市農地利用最適化推進委員	兼業	48	100	500a	水稻	地域の農地の利用適正化の推進について、熱意をもって行いたいので、引き続き、農地利用最適化推進委員に応募します。	無
7	比和2	ツミヤマ 積山	76	男	農業	H21.4.1～ R5.7.20～	就農 庄原市農地利用最適化推進委員	専業	16	170	87.4a	水稻	高齢化の進展に伴う、農地の荒廃化は地域農業の推進に大きな懸念となっています。 特に、団塊世代の農業からのリタイアが見込まれる今後は、より一層深刻になるものと考えています。 私は、県職員時代に（財）広島県農業開発公社へ3年間出向した経験があり、「農地保有合理化事業」等を間近で見えておりました。しかし、どんなに良い事業があっても人と人を繋ぐ農地の流動化等は難しいものだと痛感しておりました。 令和5年7月から農地利用最適化推進委員の委嘱を受け活動を行ってきましたが、この間も農地の遊休地化や後背地化が進んでおり非常に残念な思いが増しています。 「農地中間管理事業」の創設や「農業委員会法の改正」など、農地等利用の最適化のための整備が図られ、その中で、農地利用最適化推進委員が定められており、地域に根ざした現場活動が最も重要であり、微力ながら農地利用の最適化を支援できればと考え、応募いたしました。	無
8	東城2	タケモト 竹本	52	男	自営業	H29.7.20～	庄原市農地利用最適化推進委員	兼業	31	100	430a	水稻	平成29年7月から農地利用最適化推進委員に就任し、農地利用の最適化の推進活動をしてきました。 今後もこれまでの経験を生かし、引き続き農地利用の最適化の推進に取り組みたいと思い応募いたします。	無
9	比和1	クマノ 熊野	68	男	農業	S53.3.2～ R5.7.20～	就農 庄原市農地利用最適化推進委員	兼業	48	200	47a	水稻	近年、中山間地域において、特に課題とされている農業従事者の高齢化、後継者不在また担い手不足、さらには度重なる鳥獣被害による耕作意欲の低下などから耕作放棄地が増えていると思われまます。 今後これらの課題に取り組むため、令和5年から3年間務めた農地利用最適化推進委員として学び、経験したことを活かし、担当区域内の農地の維持・適正利用に微力ながら貢献したいと思い応募しました。	無
10	比和3	マツモト 松本	60	男	農業	H12.4.1～H24.12.31 H25.4.15～R4.3.31 R5.7.20～	(財)比和町農林業公社→合併後、 (株)庄原市農林公社 主任 庄原農業協同組合 庄原農機センター 庄原市農地利用最適化推進委員	専業	41	300	970a	水稻 露地野菜	地元の農業委員さんから、引き続き推進委員を受けてもらえないかという話をいただき、応募することになりました。高齢化が進み農業の維持ができなくなっている中、農地が荒廃しないように推進委員としてお手伝いしたいと思います。	無

受付番号	応募者													農業委員への応募の有無
	担当地区	フリガナ氏名	年齢	性別	職業	経歴		農業経営の状況					応募する理由	
						期間	名称・役職等	経営形態	営農年数	年間農業従事日数	耕作面積	営農類型		
11	庄原10	サカタニ酒谷 マサヒデ昌秀	73	男	農業	H25.4.1～ R5.7.20～	就農 庄原市農地利用最適化推進委員	自家消費	13	150	130a	水稲 露地野菜	県土地改良事業・北部農林在籍で見聞を広め、令和5年7月より農地利用最適化推進委員として活動し、農地の現況と課題について考えてきました。 引き続き、推進委員として活動したく応募します。	無
12	東城4	ヒキダ引田 ヨシミチ義道	56	男	農業	H29.7.20～	庄原市農地利用最適化推進委員	専業	19	360	400a	水稲 その他	地域農業を守り、農地の保全、維持管理、遊休地の問題に取り組み、その土地を未来の担い手に継承できるように何か役に立てないかと思い応募しました。 また、以前地元のJAに勤務した経験や、地元住民と交流を深めて推進活動に貢献し、地元の子供たちの関わりの中で食育や農地の大切さを知ってもらい、地域の農村振興に繋がりたいと考えています。	無
13	東城3	ウエ宇恵 シンジ紳二	41	男	農業	H29.7.20～	庄原市農地利用最適化推進委員	専業	13	270	3800a	水稲	平成29年から農地利用最適化推進委員を務めさせていただいております。これまでの委員経験を生かして、農地の最適化を目指すため、再び農地利用最適化推進委員に務めてみようと考えたため、応募いたしました。	無
14	高野1	フジワラ藤原 マサヒロ祐博	71	男	農業	H29.7.20～	庄原市農地利用最適化推進委員	兼業	50	70	210a	水稲	平成29年から農地利用最適化推進委員を務めさせていただいております。ここ1～2年、米価が高くなりましたが、地元でも高齢化が進み、田の耕作自体が難しくなりつつあります。今後もこの課題は増えていく予感がしております。もう少し地区に貢献したいと考えましたので、農地利用最適化推進委員に応募いたします。	無
15	比和4	カガワ香川 ミチアキ通昭	46	男	農業	R5.7.20～	庄原市農地利用最適化推進委員	専業	16	250	5000a	水稲	就農者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等、地域農業が抱える諸問題の解消に取り組み、地域農業の振興と活性化に寄与したいと考えましたので、推進委員に応募いたします。	無
16	総領	ササキ佐々木 サトシ聖	74	男	農業	H4.3.31～H29.7.19 H11.4.1～H17.3.30 H29.7.20～	旧総領町・庄原市農業委員 旧総領町町議会議員 庄原市農地利用最適化推進委員	兼業	44	200	220a	水稲	農地利用最適化推進委員として引き続き、農地の重要性を認識し、農地の最適化を推進するための仕事をすることを希望するため、農地利用最適化推進委員に応募いたします。	無
17	総領	ヤマネ山根 マサヒコ匡彦	42	男	農業	H25.4.1～	就農	専業	15	200	2400a	水稲	これまでの農業経験をもとに、農地利用最適化推進委員として農地の重要性を認識し、農地の最適化を推進するための仕事に取り組むことを希望するため、農地利用最適化推進委員に応募いたします。	無